

世界経済の新局面について

—今次 Globalization の特徴と問題点—

九州大学名誉教授 木下 悦二

世界経済の現局面は Globalization の時代と言って良い。Globalization を資本主義世界が非資本主義世界を地球的規模で包摂する過程と捉えると、1870~1914 年の第一次 Globalization は植民地支配を通じて行われたのと違って、80 年代に始まる今次の Globalization の特徴は市場経済化を梃子に推進されているところにある。

・局面転換をもたらした諸要因

局面転換とは、東西対立と南北問題という三極せめぎ合いの戦後の世界経済からの転換を指している。

- 1) 転換を導いた三人の政治家
レーガン大統領の「強いアメリカの再現」
鄧小平の改革・開放政策
ゴルバチョフのプロレタリア独裁型社会主義の変革
- 2) 二つの技術革新
情報通信技術革新
金融技術革新： a)証券化 b)デリバティブ

・現局面の展開軸

- 1) 支配的イデオロギーとしての「市場経済、自由主義、民主主義」
新古典学派経済学の優位確立：市場原理主義の横行
社会主義イデオロギーの凋落
- 2) Pax Americana の確立
90 年代米国経済の成功と一国主義的行動への傾斜
EU の経済統合過程の内向的性格と日欧の経済停滞
- 3) 東アジアの経済的台頭
「雁行形態的発展」の成果と地場企業形成の意義
東アジア地域経済圏化について

・Globalization について：

Globalization とは財、資本、人、サービスの世界的規模での移動の活発化を意味する言葉だが、その量的達成状況ではなく、この時代を特徴付けている変化に絞って検討する。

- 1) 実物経済の Globalization
多国籍企業の変貌 = 国際生産ネットワークの形成
東アジアの国際生産ネットワークについて
貿易上の諸変化
- 2) 金融経済の Globalization：
デリバティブなどリスク管理技術発展の効果
証券化に伴う銀行の変質と非銀行金融機関の役割
金融規制力の弱化とその結果
金融優位の時代の不安定性

・問題点

Globalization の問題点というと、貧富格差拡大問題、環境問題、福祉国家存立可能性問題、産業空洞化問題など多くの論点があるが、それらはひとまず措いて、ここでは長期の問題一つと短期の問題を一つ取り上げる。

- 1) 東アジアの成果は例外か?
- 2) 米国の経常収支赤字の行方